



高性能・高品質のバッテリーづくりにかける情熱

- 産業界インタビュー（3） -

プライム プラネット エナジー&ソリューションズ株式会社

バリューイノベーション本部 セル材料開発部 セパレータ開発グループ長 池田 雅俊 さん

プライム プラネット エナジー&ソリューションズ株式会社（以下、「PPES」）は、トヨタ自動車株式会社とパナソニックホールディングスの共同出資によって設立した車載用リチウムイオン（以下、LiB）バッテリーメーカーです。

今回は関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの活動の中で教材開発も担当されたPPESの池田 雅俊さんに、事業内容やバッテリー開発にかける想いを伺いました。

バッテリー事業の概要

前身となる企業での事業を含めて、2000年からHEV、PHEV、BEV 用(*)角形バッテリーの開発・製造・販売を行っています。これまで数多くの自動車メーカー、多くの車種に当社のバッテリーが搭載されてきており、バッテリー



の販売先は国内自動車メーカーだけでなく、欧米にも広がっており、HEV向けバッテリーは世界シェア1位を誇ります。

当社では国内の生産拠点として兵庫県、徳島県に工場があり、姫路拠点はBEV用バッテリー、徳島拠点はHEV用バッテリーのマザー工場として機能しています。これらの工場は海外の工場へ水平展開する役割も担っています。

バッテリー事業にかける想い

地球温暖化や大気汚染、エネルギー問題等の社会課題を背景に、車載用バッテリーを筆頭に省エネのための電力制御や災害等の有事のインフラとして様々な分野でのバッテリーのニーズの高まりに対して、より高性能、より高品質なバッテリーをタイムリーにお届けすることが私たちの使命です。



（上図）HEV、PHEV、BEV用角形バッテリー
（左図）兵庫県加西市にある「加西工場」

*HEV=Hybrid Vehicle、PHEV=Plug-in Hybrid Vehicle、BEV=Battery Electric Vehicle

今後の方向性

先述のとおり、近年バッテリーの需要が高まっており、例えばHEV、PHEV、BEV等の電気自動車の市場は2030年には5,800万台にのぼると予測されています。それは今から約6年後には5倍以上に市場が成長するという事で、これほどまで急成長する市場は珍しいと言えます。お客様の需要にタイムリーかつ安定的に供給できる体制を構築していきます。

また事業成長には人が欠かせません。採用と育成の強化をこれからも進めていきます。



出前授業の様子

未来を担う世代に向けたメッセージ

これまでHEV用のセル設計や、材料設計、セパレータ開発等様々な業務に携わりましたが、中でも特に印象深いのは、2021年頃からプロジェクトマネージャーとして取組んだHEV用バッテリーの設計です。

既存のバッテリーからサイズダウンしつつ高性能のバッテリーを開発するというミッションに際し、材料や配合、パーツの組合せ等、検討内容は多岐にわたりました。また試作と量産では設計が異なるために生産部門と相談し、量産可能な設計にすり合わせる必要もありました。

そうした調整は骨が折れるものですが、製品開発要素だけでは無く、量産性を考慮して、コストと性能の両立を目指す過程に張り合いと面白さを感じました。課題を解決して良い電池を創ることはより良い未来の実現に直結します。また、仕事の過程で得られた知識と経験は、自身の成長につながります。ぜひ、前向きに挑戦したい意欲を持った方に電池業界を選んでいただきたいです。

若手社員の声

高専卒業後、同社のプロダクトカンパニー2室で活躍する宮邊 滯樹さんにお話を伺いました。

バッテリー業界を選んだきっかけは？

PPES姫路工場での1DAYインターンに参加したことがバッテリー業界に関心を持つ大きなきっかけとなりました。実際に現場で働く方々の熱量や、業界トップを目指す姿勢に触れ、強く心を動かされました。また、インターンを通じてより深く業界について調べようになりました。

どんなお仕事をされていますか？

新規ラインの立ち上げを担当しています。主な業務として、設備の搬入、ラインの立ち上げ・制御の業務を行っています。業務上多くの人と関わることが多いので、それぞれのニーズをくみ取り、皆さんに安心して利用いただき、満足度の高い設備を導入するよう心掛けています。

職場の雰囲気、今後への意気込みは？

当室は人が多く、和気あいあいとしていて、新しいことに挑戦できる環境です。

今後ラインが増強されている中で、様々なライン立ち上げに対応できるように、多くの方とのコミュニケーションを通し、知見を取り入れながら、制御のプロフェッショナルを目指します。



編集後記

今回はバッテリー教材作成に大いにご尽力くださった池田さんにお話を伺いましたが、PPESさんは、産総研の[小型電池製造実習](#)（Cコース/STEP1相当）のプログラム作成に際してもご協力いただくなど、積極的に携わって下さっています。

担当頂いた教材のうちのひとつ「安全性（STEP2教材）」は、[教材サンプル](#)をご紹介しますので、併せてご覧ください。

